



ヘミナモ
エトノギキナー

特集 みはらっせ
フルーツ図鑑

三原特産品の代表格
「佛通寺ぶどう」

昭和23年頃「佛通寺山」を開拓し、たばこや柿を栽培するなか、昭和39年頃仲間4人でぶどうを始めたのがきっかけ。現在では鹿群（しむら）果樹生産組合がその歴史と品格を守り続けている。写真は組合員の滑（なめら）さん[左]と多田さん。大きな手でそっとぶどうを扱う姿に愛情を感じる。

三原と世羅でどのくらいの果物があるのだろう…。
梨・ぶどう・桃・柑橘と特産品は知っていても
実際、品種やその他の果物の情報は意外と知らないもの…。
今回はそんな「みはらっせ」のフルーツを、とどどん!とご紹介。
年間通しての果物や観光農園の情報が載っているので
保存版としてお手元にどうぞ。